

会社編

平成30年度「ごみゼロやまがた県民運動」

山形県では、全国一ごみの少ない県を目指して、「第2次山形県循環型社会形成推進計画（中間見直し版）」を策定し、各種施策を実施しています。「ごみゼロやまがた推進県民会議」では、それぞれの家庭や会社で取り組むべき「ごみゼロやまがた県民運動」展開方針を策定し、全県的な県民運動を推進します。本県の「1人1日当たりのごみの排出量（平成27年度実績）」は、921gで全国◎位です。平成28年度における全国1位は〇〇県の△gとなっています。

1人1日当たり約100gごみを減らして、全国一ごみの少ない県を目指しましょう

会社全体でごみ減量に取り組むことで、環境面だけでなく、経費の削減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底、社員の意識向上など、経営面での効果もあげることができます。

以下の3つの運動に積極的に取り組みましょう。

食品ロスの削減（食べ切り運動）

宴会の食べ残しは、食品提供量の14.2%。7皿のうち1皿が廃棄されていることに相当します。

（出典：平成27年度農林水産省「食品ロス統計調査・外食調査」）

健康に留意して、次の取組みをしてみてください。

〇食べられる量だけ注文しましょう

参加者の嗜好や年齢層、男女比を考えながら食べきれる量に配慮して、メニューや料理の量を選びましょう。

〇食べる時間を作りましょう。

できたての料理を味わい、料理を楽しむ時間を作りましょう。例えば、料理が出てから〇分、お開き前△分は、席を立たずに料理を楽しむ時間にするなど、会食毎に呼びかけましょう。※市町村においては、「30・10運動」として呼びかけている実践例もあります。

食品販売関連事業者や飲食店・宿泊業者の方は、「もったいない山形協力店」に登録し、食品ロス削減に向けた取組みを推進しましょう。

協力店への登録は県HPから もったいない山形協力店（⇒インターネットで検索）

紙ごみ削減・リサイクル運動

紙ごみは事業系ごみの中で高い割合を占めており、紙の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進めることは重要です。誰でも今すぐできる紙の3R運動を始めましょう。

Reduce

（リデュース=ごみを出さない）

紙を必要以上に刷らない  
会議のペーパーレス（電子）化を図る  
両面・集約印刷を心がける

Reuse

（リユース=繰り返し使う）

裏面利用を心がける  
使用済みの封筒は内部連絡などに利用

Recycle

（リサイクル=再生利用する）

〇A用紙や封筒といったリサイクル可能な紙類をしっかりと分別する



以下の異物が混ざっていると、再生紙を作る上で重大な障害が起きてしまいます。カーボン紙、感熱紙、写真、アルミ箔、粘着物のついたもの、濡れたもの、汚れたもの、金属クリップ・金具類、フィルム類、セロハン、プラスチック製品、布製品 など

環境にやさしい製品の優先購入運動

製品やサービスを購入する際は、必要性をよく考え、長く使えるものや使い終わったらごみが少なくなるものなど、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入しましょう。

〇エコマーク商品や山形県リサイクル認定製品を優先して購入しましょう。

エコマーク商品（⇒インターネットで検索）

山形県リサイクル認定製品一覧（⇒インターネットで検索）

発行：ごみゼロやまがた推進県民会議

お問い合わせ：ごみゼロやまがた推進県民会議事務局

山形県環境エネルギー部循環型社会推進課

TEL:023-630-2302 FAX:023-625-7991

ごみゼロやまがた  
県民運動キャラクター  
『ごみゼロくん』

